

名家連ニュース

平成 24 年 1 月 26 日 (木)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 堀場 洋二
TEL/FAX (052) 411-2890 NO. 185 号

骨格提言を反映した障害者総合福祉法を！ 57地方議会で意見書採択

各地域の障害者団体・関係団体の要請（請願・陳情）に基づき、各地の地方議会が、障害者総合福祉法の制定等を求める意見書を国に提出しています。

意見書は都道府県 5（岩手、宮城、秋田、埼玉、長野）政令指定都市 3（仙台市、さいたま市、京都市）市町村 49 合計 57 の地方議会から提出されています。

京都では 16、福岡は 7、東京は 5、高知も 4 の市町村議会で意見書が採択されています。埼玉では県と 4 市で意見書が採択され、1 月 20 日（金）には「みんなで創ろう！障害者総合福祉法！in 埼玉」を開催、9 団体から新法に寄せる思いが訴えられ、300 名を超える参加者でアピール文を採択したニュースが届きました。24 日から第 180 通常国会が始まっています。政府（厚労省）は近日中に法案の概要をまとめ、3 月上旬にも閣議決定を行ない国会上程される見通しです。



「思春期の“ころ”と“病”を知る」

日時：H24年1月29日(日)開場：午後0時30分 開演：午後1時
会場：中電ホール(東山線「栄駅」5番出口から東へ徒歩約5分
・桜通線「高岳駅」4番出口から南へ徒歩約8分)



第一部 講演「思春期のころの病 ～“悩み”と“病”の見分け方とその支援～」
講師 青木 省三（川崎医科大学精神科学教室 教授）

第二部 シンポジウム「思春期のころを支えるためにできること」
主催 NHK 厚生文化事業団、NHK 名古屋放送局

家族交流会 ～ 家族会の活性化へ「はじめの一步」～

21 日の代表者会議の交流会では、参加者全員が発言。皆さんから家族会及び家族の現状や悩みなどが紹介されました。「高齢化」や「役員の担い手不足」などお互いに共通する問題が多く出されました。一方で、楽しい家族会にするための「あの手」「この手」の取組も紹介され、笑い声に包まれる場面もありました。

「家族、家族会を主役とした家族会の活性化」に向け「はじめの一步」を踏み出しました。今後も、交流会を継続しお互いの家族会運営に役立つヒント、解決の糸口を見つけあっていきましょう。



～ 総合福祉法骨格提言や改正障害者自立支援法を学習しましょう～

すべてが私たちの生活に直結します。事態の進展に取り残されないように、当日配布した資料を例会等で活用しましょう。家族会から要請があれば役員も積極的に赴きます。